

2019年12月30日

各位

会社名 株式会社 ひまわりホールディングス
代表者名 代表取締役 合田 高丸

航空機リース事業参入に関するお知らせ

当社は、2019年12月4日開催の取締役会の決議に基づき、12月27日、JA三井リース株式会社様からエアバス社製A320-200型航空機のリース契約を継承した特別目的会社に対し、匿名組合出資を実施しました。本契約締結により、当社の航空機リース事業が始動することになりましたのでお知らせいたします。

今回、当社が取り組む航空機リース事業は、オペレーティングリースであり、リース会社からリースを継承し航空会社へリースを行い、リース満了後に機体を売却するという手法となります。航空機は約25年という長期にわたり使用可能な動産として一定の資産価値を持つため、リース期間中に安定したリース料を受け取れるだけでなく、市場動向次第で売却益を得ることも期待できます。

本案件は、日本の航空会社へのリースであり、機体売却時の受け取り通貨は米ドル建となりますが、リース期間中のリース料の受け取りは日本円建となるため、当社に期中の為替リスクはなく、事業のスタートとして取り組み易い案件に組成されております。

記

1. 取得の目的

航空機リース事業参入により、ひまわりグループの新たな事業拡大と更なる企業価値向上を目指していく所存です。

2. 匿名組合出資概要

| | |
|--------|--------------------------------|
| 出資日 | 2019年12月27日 |
| 出資先 | 株式会社 そら (JA三井リース(株)様出資の特別目的会社) |
| 対象航空機 | エアバス社製 A320-200 型航空機 (2019年製) |
| リース開始日 | 2019年12月27日 |
| リース終了日 | 2027年10月1日 |
| オペレーター | 本邦航空会社 |

<補足説明>

・マーケット状況

グローバル化の進展により、世界の航空輸送は今後 20 年にわたり毎年 4.7%の伸びが予測されています。また、航空旅客数の増加に伴い、2037 年には航空機機体数が現行の 24,400 機から 2 倍の 48,500 機に達する予測があります（*）航空機リース事業は、国際観光客数の増加傾向もあることから、今後 20 年間安定した成長を続けると考えられます。

（*）出典元：ボーイング・キャピタル・コーポレーション 最新の航空機ファイナンス市場予測 2018

・エアバス社製 A 320-200 型航空機について

A320-200 型機は、2019 年 3 月現在 254 社の航空会社が使用しており、4,165 機が運航中の人気機体です。

以 上